

平成20年7・8月

住宅密集地等での災害対策 住民と消防で合同訓練を実施

議員 平成二十年七月から八月にかけて、道路の狭い地域や木造住宅が密集する地域において、地元住民、消防団、消防署が合同で災害対策訓練を行ったと聞く。実施した地域を開きたい。

消防長 立野町、桃浜町、長持、片岡南、高根、東八幡の六地域である。この訓練の目的を伺いたい。



市民が参加した放水訓練(立野町)

消防長 道路が狭いため消防車の進入が困難な場所等で火災が発生した場合を想定し、地域、消防団、消防署との連携の確認や、火災発生直後の初期期における地域住民による対応方法の習得などを目的に実施したものである。

議員 実施した訓練の概要を聞きたい。

消防長 住民からの一九番通報により消防車を出動させ、ホースを消火栓に接続、延長して実際に放水する訓練を行った。

議員 地域での訓練活動の実施意義について見解を聞きたい。

消防長 火災発生時、消防隊が本格的に活動する前の段階で、自主防災組織をはじめとする地域住民が活動する地域住民が消防団や消防署と緊密な連携を保ち、地域住民自身が主体となって消火活動を行うことは大変重要であると考えている。

地域を守る消防団 現状と活動内容

議員 住民が「自分たちの暮らす地域は自分たちで守る」という意識を高めるべきと考えるが、地域で活動する消防団の現状と活動内容を聞きたい。

「こころと命を守る条例」施行後 多重債務の相談窓口開設

議員 平成二十年七月一日に「平塚市民のこころと命を守る条例」が施行された。施行後における普及啓発に向けた取り組みを聞きたい。

議員 平成二十年七月一日に「平塚市民のこころと命を守る条例」が施行された。施行後における普及啓発に向けた取り組みを聞きたい。

議員 平成二十年七月一日に「平塚市民のこころと命を守る条例」が施行された。施行後における普及啓発に向けた取り組みを聞きたい。

議員 平成二十年七月一日に「平塚市民のこころと命を守る条例」が施行された。施行後における普及啓発に向けた取り組みを聞きたい。

議員 平成二十年七月一日に「平塚市民のこころと命を守る条例」が施行された。施行後における普及啓発に向けた取り組みを聞きたい。

議員 平成二十年七月一日に「平塚市民のこころと命を守る条例」が施行された。施行後における普及啓発に向けた取り組みを聞きたい。

議員 平成二十年七月一日に「平塚市民のこころと命を守る条例」が施行された。施行後における普及啓発に向けた取り組みを聞きたい。

後絶たぬ振り込め詐欺 ステッカー等配布し 被害の抑制を図る

議員 全国で高齢者を狙った振り込め詐欺が後を絶たない。本市でも被害が急増していると聞くが、発生件数を聞きたい。

市民部長 二十年度は八月末現在の発生件数が五八件、被害額は約九六〇万円に上っており、十九年度同期に比べ三五件、約六〇〇万円増加している。

議員 被害の拡大を防ぐため、市としてどのような対策をとっているのか。

市民部長 広報ひらつかで市長自らが振り込め詐欺について注意を呼びかけたことをはじめとして、振り込め詐欺への注意を喚起する啓発チラシを作成し、庁内関係窓口で配置したほか、すべての自治会へ回覧を依頼した。また、平塚駅の街頭や地域の行事の場などでキャンペーンを開催し、市民に直接呼びかけを行った。さらに独自の振り込め詐欺防止ステッカーとメモ帳を作成し、市内すべての老人クラブの会員に配布するとともに、各自治会や防犯協会各支部

にも配布し、利用の呼びかけを行っている。

議員 対策実施後の効果について伺いたい。

市民部長 対策を講ずる前の平成二十年六月までの発生件数は月平均八・三件であったが、七月以降は月平均四・〇件に減少した。これらの対策の効果を持続することを期待しているが、振り込め詐欺の手法は日々複雑化、巧妙化している。今後とも継続的にその対策を講じていく考えである。



設置されていた関連図書コーナー(中央図書館)

局地的豪雨への対応 エリア限定の気象情報 システム導入も検討

議員 近年、全国各地で局地的な集中豪雨が相次ぎ、河川のはんらんなどによる被害が発生している。

る。本市ではどのような対策をとっているのか。

防災危機管理部長 常に気象情報の迅速な入手を心掛け、監視体制を強化するとともに、状況に応じて速やかに初動体制を敷けるよう災害時の体制強化を図っている。

議員 市内の中小河川において水害防止に向けた護岸改修等の状況はどのようになっているのか。

土木部長 本市が管理する準用河川は四河川あるが、これらの河川の護岸整備は完了している。

議員 集中豪雨の発生を一刻も早く察知し、被害を軽減することが大切だと考えている。

と考える。現在の技術レベルで集中豪雨を予測するのは大変難しいといわれているが、今後の対策を聞きたい。

防災危機管理部長 現在、民間気象情報調査会社数社に平塚市の災害履歴や気象特性等、さまざまな要素の分析を依頼し、本市のエリアに限定した都市型水害・水防対策などの支援システム構築への提案を求めている。これを比較、検討するとともに、他の自治体などでの運用実績等も考慮しながら、気象情報システムを早期導入を図りたいと考えている。

市議会ホームページを開設しています

- 市議会では、ホームページを開設し、議会のしくみ・概要・日程、議員の構成、質問を行う議員や質問項目等の「発言通告一覧」、議会に提案された「議案等一覧」などについて紹介しています。
 - 「ひらつか議会だより」…PDF版として掲載しています。
 - 会議録検索システム…平成9年5月以降の本会議と臨時会会議録および平成17年3月以降の各常任委員会と平成17年2月以降の議会運営委員会会議録を掲載しています。
- ☆市議会ホームページアドレス
http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/gikai/
(平塚市ホームページからも接続できます)

防犯街路灯の照度アップ 犯罪抑止効果尋ねる

議員 本市では防犯対策の一環として、十七年度から防犯街路灯の照度を従来の二〇ワットから八〇ワットの水銀灯へ交換する事業を行っている。現在、市が管理する防犯街路灯の約三割である一八九〇灯の交換が完了したとのことだが、照度を上げたことにより、どの程度の犯罪抑止が図られたのか。

市民部長 犯罪抑止の指標としている窃盗犯認知件数は、防犯街路灯の照度アップを行う前の平成

十六年が五一五五件であったのに対し、平成十九年は三〇九九件となり、三年間で二〇五六件減少した。防犯街路灯の照度アップは窃盗犯認知件数減少につながっている要因であり、犯罪の未然防止に寄与しているものと考えている。

議員 防犯街路灯照度アップ事業の今後の計画を聞きたい。

市民部長 二十年度、二十一年度で市内全域に一〇〇〇灯を整備する計画

である。

議員 人家の少ない郊外や河川の堤防道路等、本市では暗い場所が多いため、防犯街路灯を設置する考えはあるのか。

市民部長 基本的には自治会からの要望に沿って対応しているが、設置要望箇所の付近に電柱がない場所等では多額の費用を要するため、要望すべからず、要する場合は、財政事情を考慮しつつ、市内全域での要望状況等も踏まえ、今後順次整備を進めていく考えである。

児童書、専門書等を配置している。

議員 今後の取り組み予定を聞きたい。

市民部長 平成二十年十一月十五日、平塚市中央公民館において「命の大切さ」をテーマに、大学から講師を招いて講演会を開催した。

議員 条例施行後の相談者数を聞きたい。

とをテーマに、大学から講師を招いて講演会を開催した。

とをテーマに、大学から講師を招いて講演会を開催した。

とをテーマに、大学から講師を招いて講演会を開催した。

とをテーマに、大学から講師を招いて講演会を開催した。

とをテーマに、大学から講師を招いて講演会を開催した。

とをテーマに、大学から講師を招いて講演会を開催した。

とをテーマに、大学から講師を招いて講演会を開催した。

とをテーマに、大学から講師を招いて講演会を開催した。

とをテーマに、大学から講師を招いて講演会を開催した。